

【模擬】令和4年保育士試験（後期）問題

教 育 原 理

問 1 次の文は、「教育基本法」第 2 条の一部である。下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

教育は、その目的を実現するため、(A) 学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、(B) 生涯にわたる人格形成の基礎を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、(C) 自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、(D) 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	×	○	○	×
3	○	○	×	×
4	○	×	○	○
5	×	×	×	×

問 2 次の文のうち、「日本国憲法」の条文の一部として正しいものを一つ選びなさい。

1 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

2 すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

3 すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

4 国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。

5 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。

問3 次の文のうち、「学校教育法」の条文の一部として誤ったものを一つ選びなさい。

- 1 学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。
- 2 小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。
- 3 経済的理由によつて、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。
- 4 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。
- 5 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によつて、その振興に努めなければならない。

問4 次の記述にあてはまる人物として、正しいものを一つ選びなさい。

スイスの教育者。教育の基礎を子どもの直観に置くことを提唱し、直観を構成する要素となる「数」「形」「語」という三要素に着目した直観教授法を考案した。この教授法は日本においても、伊沢修二や高嶺秀夫らによって紹介された。

- 1 ブルーム (Bloom, B.S.)
- 2 ルソー (Rousseau, J. - J.)
- 3 オーウェン (Owen, R.)
- 4 ペスタロッチ (Pestalozzi, J.H.)
- 5 コメニウス (Comenius, J.A.)

問 5 次の【Ⅰ群】の記述と、【Ⅱ群】の用語とを結び付けた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

A オーズベル (Ausubel, D.P.) によって提唱された学習方法。新しい学習内容を学習者が既に所有している知識と関連づけて、その意味や重要性を理解できる形で提示すれば、新しい知識の定着がよくなるとしたものである。

B ウォッシュバーン (Washburne, C.W.) によって提唱された学習方法。学習領域を「共通基本教科」と「社会的・創造的活動」とに分け、前者を個別学習、後者を集団学習とした組み合わせ方式である。

C パーカースト (Parkhurst, H.) によって提唱された学習方法。「自由」と「協同」を原理とする個別学習方法である。

【Ⅱ群】

ア ウィネットカ・プラン

イ 有意味受容学習

ウ プロジェクト・メソッド

エ 完全習得学習

オ ドルトン・プラン

(組み合わせ)

A B C

1 イ ア オ

2 エ ウ ア

3 イ エ オ

4 エ ア イ

5 オ エ ア

問 6 次の記述にあてはまる人物として、正しいものを一つ選びなさい。

日本初の女子留学生の1人であり、留学中には日本の女性をアメリカに留学させる「日本婦人米国奨学金制度」を創設した。また1900（明治33）年に女子英学塾を創設し、女子教育と女性の地位向上に尽力した。

- 1 大山捨松
- 2 新島八重
- 3 羽仁もと子
- 4 瓜生繁子
- 5 津田梅子

問 7 次の文は、「小学校学習指導要領」（平成29年告示）に示された「前文」の一部である。（A）・（B）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が、自分の（A）を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、（B）の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

（組み合わせ）

- | A | B |
|-----------|------------|
| 1 よさや可能性 | Society5.0 |
| 2 学びに向かう力 | 循環型社会 |
| 3 よさや可能性 | 持続可能な社会 |
| 4 成長過程 | Society5.0 |
| 5 学びに向かう力 | 持続可能な社会 |

問 8 次のうち、「幼稚園教育要領」（平成 29 年告示）において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として記載されている事項として、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 言葉による伝え合い
- B 社会生活との関わり
- C 豊かな感性と表現
- D 規則正しい生活リズム

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	×	○
2	○	○	○	×
3	×	×	○	○
4	○	×	×	×
5	×	○	○	×

問 9 次の文は「学校教育の情報化の推進に関する法律」の一部である。(A)・(B)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

学校教育の情報化の推進は、全ての児童生徒が、その家庭の経済的な状況、居住する地域、(A)等にかかわらず、等しく、学校教育の情報化の恵沢を享受し、もって(B)が図られるよう行われなければならない。

(組み合わせ)

A	B
1 障害の有無	教育の機会均等
2 発達段階	特性等に応じた指導
3 年齢及び成熟度	教育水準の維持向上
4 各個人の有する能力	個人差に応じる教育
5 教育観念	ICT 教育の普及

問 10 次の文は、「令和の日本型学校教育の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月 中央教育審議会答申）において示された「2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿」の一部である。（ A ）～（ C ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業の長期化により、多様な子供一人一人が自立した学習者として学び続けていけるようになってきているか、という点が改めて焦点化されたところであり、これからの学校教育においては、子供が ICT も活用しながら自ら学習を調整しながら学んでいくことができるよう、「（ A ）」を充実することが必要である。この「（ A ）」の在り方を、より具体的に示すと以下のとおりである。

○ 全ての子供に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するためには、教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「（ B ）」が必要である。

○ 基礎的・基本的な知識・技能等や、言語能力、（ C ）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、幼児期からの様々な場を通じての体験活動から得た子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する「学習の個性化」も必要である。

（組み合わせ）

	A	B	C
1	ICT 環境整備	ICT 活用指導力	学びに向かう力
2	個に応じた指導	指導の個別化	情報活用能力
3	個に応じた指導	ICT 活用指導力	情報収集能力
4	ICT 環境整備	指導の最適化	情報活用能力
5	一斉指導	指導の個別化	学びに向かう力